

明星

亀山市立白川小学校だより
第42号
平成30年1月31日（文責 川合）

～であい ふれあい そして未来へ～自分を発揮し 求め続ける白川っ子の育成
すみがくを楽しみにしています。

月曜日は、「すみがく」がありましたね。「すみがく」がある日、みなさんの様子を見ると「今日はだれが授業するの？」「今日のすみがくの先生は誰？」という声がかも聞こえます。それほどみなさんは「すみがく」を楽しみにしているんだなあと
思います。（2・3年生学級通信より）

1年間全教師が1時間すみがくの時間を担当します。協力すること、ひとそれぞれのよさがあること、争いではなく話し合いで解決すること、いやなことはきちんと話すこと、やさしいことばをかけること等教師が工夫して、全校なかよし班に投げかけます。

今回は「ちがうことばんざい」という詩を使って「みんな同じがいいのかな」というめあてをもとに考えていきました。みんな、一生懸命考えていたと思います。難しくても何か自分なりの考えを持つことが大切だと思います。

「人は一人ずつ大切」「みんなちがうからいい」そんな思いを考えられた一時間でした。

せのたかい人 ひくい人
あそびのとくいな人 にかてな人
こえをだして はなす人 こえをださずにはなす人
まつぼづえをついた人 車いすにのった人
みんな みんないっしょに
それぞれちがった生きかたをしてる
みんなかおがおなじなら
かんがえていることがおなじなら
することもおなじなら
ちっともおもしろくない

きみのかわりは だれもない
ほくのかわりも だれもない
みんなちがうから
ひとりひとり たいせつなにんげんなんだ
じぶんも人も たいせつなにんげんなんだ

よのなかには
いろいろな人がいて
いろいろなかんがえがあるってことを
それぞれ とくちょうをもった生きかたがあるってことを
ひとつひとつ歩いていながら
にんげんは大きくなっていくんだ
そして ふかくなっていくんだ
みんな ちがうから すばらしいんだ



5年生三重テレビ見学

22日（月）5年生が社会科の学習で三重テレビへ見学に行きました。テレビ局での仕事の内容を学んだあと、ニューススタジオに入り、どのようにニュースを伝えるのかを学びました。

カメラ撮りの体験やニュースキャスターの体験をさせていただきました。テレビの映像がどのように伝わるのか学ぶよい機会となりました。



6年租税教室

26日（金）6年生が税金について学びました。当日は、市役所財務部税務室より渡邊有紀さんにきていただきました。

税金がないと社会がどうなるのかビデオを見て考えました。学校を建設するのに約10億円かかることや白川小学校の耐震工事に約2億円かかっていること、そしてそれも税金が使われていることを学びました。それらを通して税金の使い道や大切さを学ぶことができました。

授業の中で、一億円を札束にした重さを体感し、驚いた様子でした。



寒いですね。

学校の雪がまだまだとけません。ほんとうに寒いですね。中庭のヒョウタン池の鯉も石の下の狭い空間にうまく入っています。狭いのでU字構を反対にして入れてあげたのですが、全然入りません。不思議ですね。

